芸術学部 ディプロマ・ポリシー
人間力: 知識(人間、社会、自然等に関する知識・情報を体系的に収集・理解できる)、思考力(正しい情報をもとに、物事を論理的に考えることができる)、行動力(自らを律しながら、設定した課題に粘り強く継続的に取り組むことができる)、倫理観(自らの良心に従い、社会のために芸術・デザインの力を活かすことができる)
創造力: 発想力(豊かな感性からの直感を、概念・イメージなどにまとめることができる)、構想力(概念・イメージなどを紡ぎ合わせ、テーマ・仮説として練り上げることができる)、表現力(テーマ・仮説などを、様々な媒体によって可視化し提案することができる)

学科のDP
主に「理論」領域の科目において概論や多様な表現の展開を学ぶことを通じ、美術や工芸に関わる思想や歴史的背景のみならず、人間や社会に関する知識を修得する。その上で表現への展開や応用を系統的に理解する。
美術や工芸、人間、社会に関する知識を用いて、様々な事象について主体的かつ論理的に考える力。知識を自らの作品や生き方に応用するために必要不可欠であり、主に「理論」領域の科目および卒業制作で重視される。
社会と主体的に関わり活動してゆくために必要な基礎力を身につけ、自らの目標に向かって着実にプロセスを積み重ねる力。社会人として特に必要不可欠であり、学科合同の「キャリア・社会実装」領域の科目に特に重視される。
良心に従って他者への想像力をもって、自らの知識や技術、能力を適切に社会に生かそうとする力。社会人としてのマナーにも深く関わることでPCリテラシーやメディアリテラシーを含み、主に「キャリア・社会実装」領域の科目で重視される。
常識にとらわれず豊かな想像力や感性をもって柔軟にイメージを着想する力。作品制作のための必要不可欠な基礎力であり、主に2年次の「技術・表現」領域の科目において重視される。
自らの着想をもとに作品のコンセプトやテーマ、方法論を論理的に作り上げ実践する力。高度な作品制作のために必要不可欠であり、主に3年次の「技術・表現」領域の科目において重視される。
自らの着想と構想を論理的に整理し、作品として適切に練り上げてフィニッシュする力。創造力の軸となる力であり、「技術・表現」領域の科目および卒業制作において特に重視される。

◎ DPを達成するために特に重要
○ DPを達成するために重要
△ DPを達成するために望ましい

Table with 12 columns: 科目名, 必修/選択, 履修年次, 講義/演習, 単位数, ナンバリング, 開講期, 知識, 思考力, 行動力, 倫理観, 発想力, 構想力, 表現力, テーマ, 授業概要, 到達目標. Rows include subjects like 美術概論, 工芸概論, 美術工芸史, 表現研究, 図学, 美術各論, 工芸各論, コンピュータ演習, ソーシャル・アート演習, 絵画基礎演習, 彫刻基礎演習, デザイン基礎演習, 染織テキスタイル基礎I-III, V, and マテリアル・リサーチC.